

令和3年度 GLEP 海外インターンシップ報告書

学部：環境人間学部

学年：2年

対象国：オーストラリア

氏名：岩本晃典

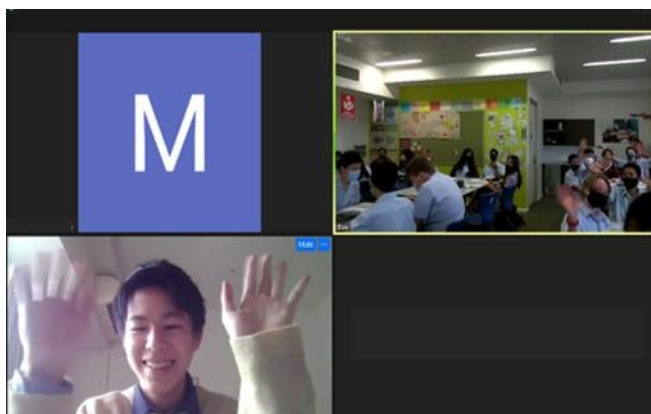
期間：2/11～3/11

● インターンシップ参加の動機

私のインターンシップ参加の動機は、100年続くかもわからない自分の人生の中で、できるだけ早いうちに海外に足を運び、海外の人々との交流し、文化や風景に触れておきたかったからです。私は、生まれてこのかた20年、海外に行ったことがなく、海外への憧れが日に日に増しました。人生の体感時間は年齢を重ねるごとに短く感じるようになると定説されている「ジャネーの法則」によると、0～20歳までの時間感覚と21～80歳までの時間感覚は同じであると言われています。つまり、20歳が人生の折り返し点であり、20歳を過ぎると良くも悪くも人生はより加速していくのです。そんな20歳になる年に、GLEPに所属していたおかげでこのインターンシップに参加する機会を得ました。

● インターンシップ内容

インターンの内容を要約すると、「動画を用いてオーストラリアの9年生（日本で言う「中学3年生」）に向けて自分の学生生活についてプレゼンテーションを行う」という内容でした。インターン応募時の当初の予定とは違い、オーストラリア現地での実施ではなく、オンライン上での実施でした。海外に実際に足を運びたい自分としては少しがっかりしたのが本音です。しかし、インターンを終えて振り返ると充足感のある結果となりました。



インターンシップの内容を具体的にスケジュール順に追っていくと、

- ・2月中旬に zoom でインターン先である「西オーストラリア州・兵庫文化交流センター」の代表者3名と顔合わせ
- ・オーストラリアの9年生にオンラインで45分×5クラス分のプレゼン&質疑応答をすることが決定
- ・プレゼン用に15分ほどの「自分の学生生活の様子について」の動画作成が決定
- ・プレゼンに使えるような自分が出演する形式の動画を友人などの協力を得て複数本撮影
- ・2月下旬に zoom で話し合いの上、日本語をベースにした質疑応答を行うことが決定。45分間の授業の始めの10分ほどを使って、日本語での答え合わせを用意した自己紹介（生徒に自分が紹介で述べた好きな食べ物などを答え合わせ形式で答えてもらう）をすることが決定
- ・動画編集

- ・3月上旬に西オーストラリア州・兵庫文化交流センターの方々に完成した動画をリハーサル形式で流し、了承を得る
- ・3/9～3/11の3日間連続オンラインでパソコン越しに大勢の生徒を相手に各クラス45分間でインタラクティブな自己紹介、プレゼン、質疑応答、雑談を行う（いわゆるインターン本番の3日間）



● 学んだこと、得たこと

このインターンを通して一番やりがいを感じたことは、国も文化も違う外国の子供が自分のプレゼンや話を聞いて喜んだり、楽しんだりした表情を見せてくれたことです。そのようなやりがいを感じられたのは、相手の言うことに聞き耳を立てたからだと考えます。多少通信障害なり、言語の壁があったりしても、互いに相手の言うことに聞き耳を持ち、互いに相手に関心をもっていれば伝えたいことが伝わるのだと学びました。

また、自分を信じて全力で取り組むことを学びました。自分が出演する動画を撮影すること、動画を編集すること、計130人のオーストラリア現地の学生を相手に自分の伝えたいことを発信すること、1対3で打ち合わせを行いながら活動内容を決めていくこと、これら全てが私の人生で初の試みでした。正気なところ、不安や緊張は多々ありました。しかし、相手に伝えたい気持ち、せっかくインターンに参加したのならより良いものにしたいという気持ちを内に秘め、自分を信じて取り組んでみるようになりました。

● 印象に残ったこと

印象に残ったのはモニター越しに見る子供たちの表情、リアクションです。日本もオーストラリアも同じで、表情一つをとっても十人十色でした。自分以上に緊張している子、自分の世界に入って上の空の子、仲間と楽し気にしている子、真面目な子、考えるのが好きな子、ノリが良くて積極的な子、おと

なしいけど先生に話を振られるとしっかりものになる子、目がキラキラしている子、ヒステリックな雰囲気を持つ子、健気な子などさまざまでした。

● 苦労したこと

苦労したことは、想定外の予定変更が多くあったことです。大分多くあるので見やすいように箇条書きにします。

- ・10月ごろ、コロナ渦の水際対策強化によりオーストラリア現地でのインターン実施が難しくなる
- ・11月ごろ、第3波終息気味になり、オーストラリアの入国規制が1年ぶりに大幅緩和され、現地に行ける可能性が出る
- ・12月ごろ、オミクロン株が流行し、規制が強まり、現地でのインターン実施は淡い期待に終わる
- ・少数相手にプレゼンを行うはずだったが、規模が大きくなり計130人に向けてプレゼンをすることになる
- ・プレゼン込みで1回15分ほどの予定だったが、プレゼン込みで授業全体の45分間/1回になる
- ・本番中機材トラブルにより多少ラグが生じる

以上が直面した苦労です。しかし、こんな苦労もなんとかなるものです。裏を返せば、自分で考えて解決できるチャンスが増えたということです。これらの苦労のおかげで自分のインターンのやりがいが増したと言っても過言ではありません。

● インターンシップ参加に当たって必要な語学力・スキル

私のインターンシップの場合は、語学力は中学生レベルの単語力&リスニング力があれば十分だと思います。それよりも、相手の言うことや気持ちを理解しようとする姿勢が大切だと思います。

● この経験を今後どう活かしていくか

想定外な場面、ディスアドバンテージな状況に遭遇した時に発想の転換によって成長の機会に変えられることに気づいたため、今後も同じような状況に遭遇した際は逐一成長するチャンスに変えていこうと思います。

また、動画の編集技術も少しは身につけることができたため、動画編集に携わる機会があれば、得られた技術を存分に駆使していこうと思います。

● 後輩へのメッセージ

自分のやりたいこととマッチしていれば、ぜひ参加すべきです。ひょっとするとあなたが春休み中の1か月間で成長できるチャンスがそこにあるかもしれません。





以上